

第7回小平市史編さん委員会要録

1. 日時 平成22年11月20日(土) 午後3時00分～5時00分
2. 会場 中央図書館会議室
3. 出席者 市史編さん委員8名 欠席委員1名 事務局3名 傍聴者4名
小平市長
4. 会議次第
 - (1) 開会
 - 小平市長挨拶
 - 市史編さん新委員の紹介 角田清美委員
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 報告
 - ①平成22年度事業の経過報告について
 - ②史料集の刊行について
 - ③「市史研究 第3号」の編集について
 - ④図録・写真集の検討状況について
 - ⑤執筆要項について
 - ⑥その他
 - (4) 議事
 - ①市史各編目次構成の検討経過について
 - ②調査研究報告事業各編の中間報告について
 - (5) 閉会

配布資料

- ・事業報告(民俗編)(近世編)(近現代編)
- ・史料集の刊行について
- ・『「小平の歴史を拓くー市史研究ー」第3号構成案
- ・小平市史別冊『図録』について
- ・小平市写真集進捗状況
- ・小平市史 執筆要項案
- ・『小平市史 自然地理・考古・民俗編』目次構成案
- ・小平市史料集 第三集 小平市関連新聞記事集(上・下巻)目次
- ・「小平市史」近世編 目次構成案
- ・第6回小平市史編さん委員会要録

<会議の概要>

・市長挨拶

市史編さん委員会の委員の皆様には平成20年10月以来、市史編さん事業に精力的にご尽力いただき、早や2年が経過し着々と史料収集が積み重ねられ、次々と新たな研究成果が挙がっていることに心から感謝申し上げます。

今年度から角田清美（すみだきよみ）先生に新たな委員として加わっていただき、自然編を担当していただくことになりました。自然編は小平市史編さんにとって欠かせない主要なテーマですので、よろしくお願いいたします。

また、来年度からはいよいよ市史の執筆に掛かっていただくことになり、本事業の佳境を迎えようとしております。先生方には益々多忙な日々をお送りいただくことになり大変恐縮ではありますが、市民にとって分かりやすく親しみやすい市史を編さんしていただき、小平を知るための座右の書となることを期待しております。

事務局より、配布資料に基づき報告事項の説明

・報告に対する質疑応答等

委員：各種刊行物の販売状況は

→平成22年11月10日現在の販売数は78冊。内訳は市史研究創刊号24冊、市史研究第2号40冊、史料集第1集9冊、史料集第2集5冊となっている。

委員：図録について、本編とのかかわりをどのように考えているか。

→競合する点あるが、図録作成により、より詳細な説明が可能となる。

委員：近現代についても図録の作成を予定しているか。

→事務局としては、近現代も掲載を予定しているがどうか。

委員：図録の性格を再度検討し、写真集等との統一感も図ってほしい。

→図録の作成について、再度整理し微調整していきたい。

委員：執筆要項はいつまでに決定しなければいけないのか。

→平成23年3月末までに確定したい。

委員：西暦・和暦の使い方や差別用語等について、各編でも検討して行くこととしたい。

委員：基本的なことだが、本編は縦書きか横書きか。

→縦書きで統一していきたい。

自然・考古・民俗編、近世編、近現代編の各委員より議題の説明

・議題に対する質疑応答等

委員：各編で調査等を進めていくなかで、目次構成について検討しているが調整が必要なこともあることから、今後も合同会議の場を設けていただきたい。

→必要に応じて、設定していきたい。